

よみがえる25年前

1988年4、5月
これは今から25年前を記憶や資料をたよりにひも解いてみようとする企画です

◆O-JAPAN 衣替え

O-JAPANは新組織への衣替えを機とし、A5版からB5にサイズアップ、表紙に写真を配置するなど体裁も新たにしました。(先号で従来のサイズをA6とお伝えしましたが、A5が正しいサイズです)



◆初の4月開催「全日本大会」

山梨県の八ヶ岳山麓で開催された第14回全日本大会は現地の気候を考慮し4月24日に開催された。第1回から3月下旬開催を続けていたが、ついにその慣例を破った。参加者は個人1710名グループ125名の参加があり、当時の熱心さがうかがえる。また、1987年のWOC選手権者であるスウェーデンのケント・オルソンとアリヤ・ハンヌスが山梨県OL協会の招きで来日し、レースを楽しんだ。一方日本のエースがどこまで迫れるかも注目であり、男子は村越真がV9を果たしたが、オルソンに8分42秒差をつけられ、女子はハンヌスに18分24秒の大差をつけられたが、新鋭深田幸子(筑波大)がV。

◆全国組織10月に発足の見通し

4月16日に第4回設立準備委員会が開催され、35都道府県は参加の意思表示があったが、10県の組織が検討中という状況下であったが、仮に47都道府県の足並みがそろわなくても発足することとした。また、63年度、64年度の予算と事業計画が示された。

また、従来から全日本大会の前日に開催されている全国指導者研究協議会で経過報告と説明が行われ、関心が高く、全国からの参加者は熱心に聞き入った。

◆第1回インターハイ

3月26・27日神奈川伊勢原市で第1回的高等学校選手権が開催された。現在と同じ、個人戦とリレーが行われ、個人戦では男子鹿島田浩二(桐朋高)、女子は田島利佳(豊岡高)が優勝した、一方リレー男子は11チームが参加し、桐朋高が早稲田実業や浦和高との接戦を制し優勝。女子は川和高1校のみの参加。

時の話題

4月3日 巨人の澤村拓一投手誕生

4月10日 瀬戸大橋開通

4月11日 広島の前田健太投手誕生

4月14日 ソ連がアフガニスタンからの撤退に合意し、5月15日撤退開始

4月16日 第17代中村勘三郎死去
(2012年12月に亡くなった第18代中村勘三郎の父親)

5月20日 昭和天皇最後の園遊会おでまし。恒例の天皇と出席者との直接会話は天皇の体調を考慮し中止

5月28日 黒木メイサ誕生